

発行 名瀬地区社会福祉協議会
会長 新井 敏行

名瀬地区的社会福祉協議会では、事業として、社会福祉大会、社会を明るくする運動、ゲートボール大会、ふれあいグランドゴルフ大会、ボウリング大会、子育て支援（赤ちゃん教室・モーモークラブ・育児講座）、高齢者食事会、いきいき健康セミナー、ネットワーク訪問を行っています。その他、様々なボランティアグループ等に助成しています。

第13回 名瀬地区社会福祉大会(定期総会と福祉講座)

名瀬地区社会福祉協議会 27年度収支決算書

収入の部

科目	決算額	説明
市社協補助金	50,000	組織運営事業支援
区社協補助金	377,960	各種事業活動支援
連町分担金	850,000	分担金
寄付金	10,000	
預金利子	75	普通預金
前年度繰越金	779,362	
合計額	2,067,397	

支出の部

科目	決算額	説明
事業費	489,423	各種事業活動費
広報・研修費	110,360	「なせ社協」発行等
事務費	24,916	事務用品・交通費等
会議費	12,455	諸会議費
涉外費	6,000	慶弔費・涉外活動費
助成金	410,000	各種団体の活動支援
会費	188,720	区社協一般・世帯会費
雜費	0	
予備費	30,480	
次年度繰越金	795,043	
合計額	2,067,397	

第一部 定期総会

5月22日(日)、午後1時30分より、名瀬地域ケアプラザにて、名瀬地区社会福祉大会が開催されました。

新井会長の議事進行により、27年度事業報告・決算報告・会計監査報告、28年度事業計画・予算及び28・29年度役員案が提出され、いずれの議案も全会一致で承認されました。

28・29年度役員

役職	氏名
会長	新井 敏行
副会長	小金 邦利
副会長	加田 寅一
副会長	三尾 和博
会計	高橋 道徳
監事	浅岡 正道
監事	寺澤 昭治
事務局長	荒木三和子
副事務局長	坂佐井八郎
副事務局長	長尾 清子
副事務局長	洲崎み子

第二部

*第3期 とつかハートプランについて

第2期 とつかハートプラン（名瀬地域ケアプラザエリア）が終了、今年度より、第3期 とつかハートプラン（名瀬連合町内会エリア）が始まります。

第3期では、ハートプランウォーキングを開催したり、見どころ健康マップや、福祉保健マップを地域のみなさんで作成、配布しました。またそれらを活用していただくためにDVD（地域の方々が名瀬の風物を撮影、名瀬中の生徒さんがナレーションを担当）を作成し、名瀬地域ケアプラザで貸し出しています。

第3期は、連合町内会エリアに代わり、これまでの名瀬地区の取り組みをより充実させて行こうという目標で推進されます。

*「まちものがたり 1.2.3(DVD)」鑑賞 ～障がいのある仲間たちとの暮らし～



3本のDVDは戸塚区社会福祉協議会 障がい福祉分科会が、知的障がい、身体障がい、精神障がいのある方々の暮らししぶりや、ご家族、支援する人々のことを地域の方たちに知っていただくために制作したものです。あまり知られていない作業所やグループホーム等の施設での、スタッフの手を借りながらも生き生きと前向きに暮らす障がいのある方々の様子が映し出されました。優しいBGM、親しみやすいナレーションも相まってとてもほっこりするような映像でした。DVD鑑賞の後は「社会福祉法人クローバー」の理事長高橋良壽さんとDVDにも登場した利用者の河内翔馬さん、小泉晴夫さんが実際の暮らしや仕事の様子を楽しそうに明るく話してくださいました。職員さんやまわりの方々に暖かく見守られながら、各々が出来る事を精一杯やっておられる様子に、出席者の皆さんも大変感銘を受けられたようです。理解を深めるにはまず知る事が大切なんですね。

このDVDは戸塚区社会福祉協議会が学校や地域に貸し出しておられるそうです。





第27回 名瀬地区老人福祉大会

6月7日(日)、午後1時より名瀬小学校体育館において、名瀬地区老人福祉大会が開催されました。

参加されたのは、第一みのり会(第二町内会)、第二みのり会(第三・第四町内会・たかの台自治会)、第三みのり会(第一町内会)、シルバークラブ(市営名瀬住宅)、きずなクラブ(市営名瀬第二住宅)、寿栄会(ネオポリス自治会)。

今年の3月に引っ越しをした「名瀬ホーム」の皆さん分まで頑張ろうと、各老人会も一層熱が入ります。会場も一体となった楽しい舞台となりました。



10演目勢ぞろい

映画のつとい 桜「サクラサク」



6月14日(火)は名瀬第二町内会館にて毎年恒例のボランティア連絡会主催の映画会が開催されました。今年の担当はしらさぎ会です。

バラバラになりかけた家族が、認知症を発症した祖父のふるさとを薄れ行く記憶を頼りに家族全員で旅をしながら再生して行く物語です。

思いがけない孫息子の優しさにウルツとしたり、仕事一筋の息子と嫁の夫婦のあり方を考えさせられたり、自分にも起こりうる身近な問題をはらむ作品に、皆さん引きこまれ、絆を取り戻した家族にほのぼのと明るい気持ちで帰られました。

第66回 名瀬地区社会を明るくする運動 7月23日(土) 13時30分~

連日の猛暑の中のほっと一息つける日、60名もの会員が名瀬第二町内会館にお集りになり、新井敏行会長、大山勲夫会長の主催者挨拶、区社会福祉協議会室井慶之事務局次長の来賓挨拶に次いで、「鉄拳の社会を明るくする運動」のビデオ視聴後、横浜市環境創造局公園緑地部公園緑地維持課中島高志課長の「よこはまみどりアップ計画」について市内各公園の特徴と設立の趣旨、歴史の話を聞きました。今まで気づかずいた横浜市の取り組みについて感銘を深めました。更に、名瀬小学校梅田比奈子校長が話された「体験が子どもを育てる」という1年生から6年生までがいろいろな行事や活動を通してめざましく成長する様子には大きな共感が寄せられました。各種団体活動を通して名瀬をよく知る加田寅一さんが時代を遡る話をされ、高橋志津江さんが「大きな公園ができるまで長生きしなくちゃ」と言われると思わず大きな拍手が起きました。

8月2日には横浜市の2歳の男子を殺害した元ベビーシッターに懲役26年の判決が言い渡されたり、県内の障がい者施設では多数の死傷者がいる事件が起きていました。

横浜の数多い公園は市民それぞれの興味関心に応えそれぞれの生き方の場を広げるように工夫されています。また、友達と一緒に体験する機会は「どうせオレなんか」と自己否定的になつたり希薄になりがちな関係性を密にする大事な場であることを改めて感じることのできた「社会を明るくする運動」の一 日でした。(長根)



名瀬小学校 梅田比奈子校長

祝 15周年おめでとうございます！

★ 「しらさぎ会」 ★
「ひだまりサロン名瀬」
<http://hidamarisalon-nase.org/>
～ひだまりサロンのHPができました～

ミニディサービスグループ「ひだまりサロン名瀬」が5月に、「しらさぎ会」が8月に15周年を迎えました。どちらも、名瀬地区社協が主催したボランティア講座を受講した人が中心になって立ち上げた高齢者を対象とした地域の支え合いのボランティアグループです。

一人暮らしや日中一人の高齢者の方等の集いの場として大変喜ばれています。